健康案内

予防接種

健康課☎725・5422

ツベルクリン・BCG

左表の日程で行います。直接会場へおいで下さい。

○対象　接種日現在、生後3か月以上4歳未満でBCG接種を受けたことのないお子さん

○持ち物　母子健康手帳、質問票（当日の会場にもあります）

○接種方法　①ツベルクリン反応検査＝ツベルクリン注射をしてから2日後（やむを得ない場合は3日後）に判定②BCG接種＝ツベルクリン反応検査の判定の結果、陰性の場合はその場で接種

【次のような場合は受けられません】

〈ツベルクリン反応検査〉

①発熱している②重篤な急性疾患にかかっている③まん延性の皮膚病にかかっている④ツベルクリン反応検査において水ぼう、え死等の非常に強い反応を示したことがある⑤副じん皮質ホルモン剤を使用している⑥その他予防接種を行うことが不適当な状態にある＝場合

〈BCG接種〉

①前項①～⑥のいずれかに該当する②予防接種ワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシー（激しいアレルギー反応）を起こしたことがある③結核その他の疾病の予防接種、外傷等によるケロイドが認められる④ポリオ、麻しん、おたふくかぜ、風しん、水ぼうそうの予防接種を受けてから4週間が経過していない⑤三種（二種）混合、破傷風、インフルエンザの予防接種を受けて1週間が経過していない＝場合

※その他、お子さんの体調によっては、医師の判断により接種を見合わせる場合があります。会場で注意事項の掲示等もご覧のうえ、医師とよく相談して下さい。

※車での来場はご遠慮下さい。

ツベルクリン反応検査・BCG予防接種日程表

ツベルクリン接種後2日目に判定を行い、陰性の場合BCGを接種しますので両日ともおいで下さい。

○時間　いずれも午前10:00～11:30及び午後1:30～3:00

（ただし小山センターは午前のみ、堺市民センターは午後のみ受付）

実施日		会場
ツベルクリン反応検査	ツベルクリン判定 BCG接種	
1月15日(火)	1月17日(木)	健康福祉会館（原町田・森野・中町・旭町・玉川学園・南大谷・高ヶ坂地区の方）
		鶴川市民センター
1月16日(水)	1月18日(金)	南市民センター
		小山センター（午前のみ）
		堺市民センター（午後のみ）
1月21日(月)	1月23日(水)	健康福祉会館（原町田・森野・中町・旭町・玉川学園・南大谷・高ヶ坂地区以外の方）
		木曽山崎センター
1月22日(火)	1月24日(木)	成瀬センター
		リサイクル文化センター
1月28日(月)	1月30日(水)	健康福祉会館

1月の健康案内　問健康課☎725・5422

事業名	会場	期日		時間	対象	内容	
母親学級―4日間コース―（申し込み制）	健康福祉会館	4日（金） 11日（金） 18日（金） 25日（金）		午後1時30分～4時 受付 午後1時～	16～25週の妊婦	1日目	妊娠中の生理と健康管理
						2日目	妊娠中の日常生活と保育、妊婦体操（実習）
	鶴川分館	7日（月） 15日（火） 21日（月） 28日（月）				3日目	歯の衛生、生活と栄養
						4日目	もく浴法、呼吸法（実習）
離乳食講習会（申し込み制）	健康福祉会館	初期	11日（金）または25日（金）	午前9時55分～11時45分 受付 午前9時30分～	4～5か月児	離乳食の進め方のお話と試食	
		後期	18日（金）		8～9か月児	離乳食後期のお話と試食、歯の話	
乳幼児母性相談	健康福祉会館	7、21、28日（月）		受付 午前9時45分～11時30分 午後1時30分～3時	2か月児～就学前	身長・体重測定、保育相談、栄養相談、母性相談、家族計画指導	
	ﾁﾞｺﾓｾﾝﾀｰぱあん	11日（金）					
	鶴川分館	10日（木）					
	健康相談室忠生	16日（水）					
	堺市民センター	9日（水）					

健康づくり

骨粗しょう症予防事業

更年期の女性ホルモン低下に起因する骨粗しょう症の予防対策として、年間4回行っています。

○対象　市内在住の方で、2月26日現在40歳、45歳、50歳、55歳、60歳及び65歳である女性

○期日　2月26日（火）

※時間は追って通知します。

○会場　健康福祉会館

○内容　①保健婦、栄養士の話②骨量測定③個別相談

○費用　600円（骨量測定費用の一部を負担していただきます。ただし生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の方及び㊇老人医療証をお持ちの方は無料です）

○定員　300人（抽選）

○申し込み　ハガキ（1人1枚）に「骨粗しょう症予防事業申し込み」と書き、住所・氏名（ふりがな）・年齢・生年月日・性別・電話番号を明記し、1月7日まで（消印有効）に健康課（〒194－0013、原町田5－8－21、健康福祉会館内、☎725・5178）へ。

健康教育講座

健康課☎725・5178

【骨の老化とその予防～寝たきりにならないための身体作り】

スポーツトレーナーによる体操も実施します。

○日時　1月16日（水）午後1時30分～3時30分

○会場　健康福祉会館4階

○講師　くわな整形外科・桑名賢治氏

○定員　100人（申し込み順）

※ご希望の方には体脂肪測定を実施します。

○申し込み　電話で健康課へ。

お知らせ

お詫び

本紙12月11日号「子どもセンターぱあん」記事中の「南郵便局特別コーナー」は、12月22日に同センターで行われます。また、クリスマス切手等の販売については誤りでした。関係者の方にもご迷惑をお掛けしました。お詫び申し上げます。

問子どもセンターぱあん☎788・4181、広報広聴課☎724・2101

募集

中高生イベント「スイングアップ」スタッフ

4月28日にぽっぽ町田で開催予定の中高生イベント（内容＝アコースティック系ライブ、カラオケ、コント、ダンス、主張など）のスタッフを募集します。

みんなの力を合わせてイベントを企画し実施することにより、自分をアピールし、新しい自分を発見してみませんか？友達もお誘いのうえ、ぜひご参加下さい。

○対象　中学生・高校生世代の方（その他の方で、参加を希望する方はご相談下さい）

○申し込み　1月18日までに電話で青少年課（☎724・2182）へ。

障害児スポーツ教室指導員

○資格　福祉に理解と熱意のある方（ただし学生は除きます）

○勤務日時　毎週土曜日の午後（8月は除く）

○勤務場所　サン町田旭体育館

○定員　若干名

○謝礼　1回4000円

○応募　1月11日までに電話で障害福祉課（☎724・2147）へ。

2002まちださくらまつり出店（展）者

4月6日、7日に尾根緑道とその周辺で開かれる「まちださくらまつり」の出店（展）者を募集します。

【PRコーナー】

○対象　さくらまつりでPRしたい企業・団体（市内の企業・団体を優先します）

○出展枠　10程度の企業・団体（抽選）

○内容　展示、サンプリング、オリジナル・イベント企画など（販売は一切認めません）

【模擬店】

○対象　市内在住、在勤、在学の方を中心とするグループ・団体

○出店枠　福祉団体8団体、会場隣接地元団体10団体、さくらまつり協力団体4団体、その他の団体13団体程度（抽選）

◇

○申し込み　往復ハガキに団体名・代表者名・住所・電話番号・PRコーナー、模擬店の区別を明記し、返信欄にも住所・氏名を書いて、1月11日まで（必着）に町田市民さくら祭り実行委員会事務局（〒194－0022、森野1－33－10、森野分庁舎商工観光課内、☎724・2129）へ。

※福祉団体は、市が定める社会福祉事業団体等を優先します。

※PRコーナー・模擬店とも1企業・団体につき1テントの運営となります。

ご案内

農業委員選挙人名簿登載

農業委員会委員選挙人名簿は、農業委員会委員選挙の資格を有する方の申請に基づき、毎年1月1日現在で選挙資格を調査し、作成します。この名簿に登載されませんと、投票やリコールの請求ができません。

農業委員会と選挙管理委員会では、農協の支部長を通じて申請書を各農家に配布しますので、平成14年1月1日現在の状況を記入し、1月4日までに地域の農協支部長までご提出ください。

資格のある方は、①市内に住所を有し、昭和57年4月1日以前に生まれ、1000㎡以上の農地について耕作を営む方②その同居の親族または配偶者で、年間おおむね60日以上耕作に従事している方です。

なお、選挙管理委員会（森野分庁舎内）では、作成した名簿を2月23日～3月9日の間縦覧に供します（時間＝午前8時30分～午後5時）。

問農業委員会事務局☎724・2169、選挙管理委員会事務局☎724・2168

オプティマってなあに？

町田の行財政改革(4)

【政策主導型組織を目指した組織改正】

OPTIMA21では、時代に即した組織への再編に向けて、策定当初から「機能的な組織の形成」を重点プランのひとつに掲げて検討を重ねてきました。この成果のひとつが、2000年4月に実施した大幅な組織改正です。この時に政策形成機能の強化、総合調整機能の強化、部門管理機能の強化などを主な着眼点として、市の組織全般にわたる見直しを行いました。

まず、地方分権の進展や社会経済情勢の変化に対応できる組織の形成を目指し、政策形成機能の強化のため企画部門に政策審議室を新設しました。また、市政の一体性・総合性を確保するために、総合調整機能を発揮できる体制を整備しました。さらに、まちづくりの新しいアイデアを提案し、部門ごとの目的意識の高揚を図るため、各部に部門管理課を設置するとともに必要に応じて企画調整スタッフ職を配置しました。

次に、少子・高齢化社会への対応を図るため、福祉行政と保健・医療行政を一元化するとともに、市街地の環境整備と商業の活性化のため組織を統合再編しました。また、市民フォーラムに代表される生活文化関連行政機能の充実や青少年関連部門の連携と事業の効率化を図るため、担当部長を配置しました。

他にも、各部・課・係の名称を、所管している事務事業をイメージしやすい言葉を用いた名称に変更し、市民の皆さんにとって分かりやすくすることで、利便性の向上を図りました。

【組織改正の背景】

市制施行後の43年で人口が6倍強の約38万人の都市に成長し、教育、福祉、都市基盤整備などの様々な行政課題が次々と発生し、市では必要な組織整備を行ってきました。しかしこの間の市全体の機能的、構造的な見直しの視点からは必ずしも十分な組織整備とはいえず、結果的に組織の肥大化・膨脹化を招いてしまいました。近年では、少子・高齢化の進展、環境問題、長引く景気の低迷など、市に課せられた課題は増大する傾向にあります。加えて、地方分権の進展に伴い、地方自治体には政策の独自性・創造性が求められてきました。

そこで、新たな行政課題や多様な行政需要に迅速に対応するため、その時代に即した柔軟で効率的、機能的な組織の確立を図ってきたのです。